



2025年10月7日

各位

会社名 note 株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 加藤 貞顕  
(コード番号: 5243 東証グロース)  
問い合わせ先 取締役 CFO 鹿島 幸裕  
TEL. 050-1751-2329

### 通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2025年1月14日に公表しました2025年11月期通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年11月期通期連結業績予想の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	4,010	60	80	110	6.71
今回発表予想 (B)	4,125	200	210	330	20.11
増減額 (B-A)	115	140	130	220	—
増減率 (%)	2.9	233.3	162.5	200.0	—
参考 前期実績 2024年11月期	3,312	52	75	98	6.44

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、主力事業であるnote事業とnote pro事業の成長が加速していることに加え、子会社のTales & Co.株式会社が取り組む新規事業の売上貢献により、期初公表の予想を上回る見込みとなりました。

note事業は、生成AIの普及を背景にクリエイターおよびコンテンツの増加ペースが高まっており、読者とコンテンツの出会いが増え、流通総額(GMV)の拡大へとつながっています。note pro事業は、noteの拡大に伴い企業がnoteを活用して発信するメリットが拡大していることに加え、追加機能の拡充や営業強化の取り組みが功を奏し、契約獲得が加速している状況です。

なお、売上高の上方修正額に対する寄与の大きさは、note事業、note pro事業、新規事業の順となっております。

営業利益、経常利益、当期純利益の各指標につきましても、上記売上高の大幅な伸長による増益効果を主因として、期初予想を大幅に超える水準で着地する見通しです。

なお、当期純利益の通期予想の上方修正幅が営業利益および経常利益の上方修正幅と比較して大きくなっている理由は、主に法人税等調整額(益)の計上によるものです。足元の堅調な業績や今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当第3四半期連結累計期間において74百万円を計上しています。詳細は本日公表の「繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

note 株式会社 IR お問い合わせ窓口 <https://ir.note.jp/inquiry>